

まちの日記帳



親子で楽しくクッキング！

6/17

おやつづくりを通して、親子のふれあいを深めることを目的とした第1回親子ふれあい塾が町総合文化センターで行われました。

今回は、5組の親子11人が参加し、町食生活改善推進員会（越谷玲子会長）の皆さんに協力いただき、ふのかりんとうやみつ豆を作りました。

子どもたちは、普段あまり使うことのない包丁をもちながら、お母さんと一緒になって楽しそうに料理する親子の姿があちらこちらで見られるなど、ほほえましい親子の光景が広がるあたたかいふれあい塾となりました。



迫力ある舞台に魅了され！

6/26

さまざまな文化芸術などに触れ、児童の豊かな感性を育むことを目的に毎年行われている小学校芸術鑑賞会が町総合文化センターで行われました。

町内の小学生と一般の方々を対象に約150人が訪れた今年の公演は、「劇団さっぽろ」により、舞台「はやてに走れあまんじゃく」が公演されました。

角のはえたあまんじゃくが人間の娘を嫁にするため、村のきまりに従い懸命に頑張るが、最後は祈り実らず別れてしまう悲しく厳しいストーリーの中、「出会い」や「痛みを受け止める」ことの大切さなどをテーマにした舞台を鑑賞した児童らは、普段見る機会の少ない本格的な舞台に多くの拍手を送っていました。



ふるさと積丹を堪能！

7/7-8

札幌しゃこたん会（大沢哲会長・会員145人）が主催する「積丹周遊バスツアー」が行われました。

隔年で実施しているバスツアーですが、今年は28人の会員が参加し、「岬の湯しゃこたん」での入浴、全国渚百選選定の「島武意海岸」や北海道遺産「神威岬」の見学など、あっという間の2日間でした。

参加された方々は、懐かしい風景を見ながら昔話しながら花が咲き終始盛り上がったツアーとなり、ふるさと「積丹」を堪能していました。

